

障害者の生活と心理（一部抜粋）

障害種別や個人によって、人それぞれ求めていることは異なります。
 どういった方がどんなことに困るのかを「知る・考える」ヒントにさせていただけたらと思います。

肢体不自由	車いすや歩行器、杖を使うことによる「移動」における配慮が必要
視覚障害	見えない、見えづらいことによる「情報不足」における配慮が必要
聴覚言語障害	聞こえない、聞こえづらい、話せない、話しづらいことによる「コミュニケーション」における配慮が必要
内部障害	見た目では分かりづらい障害だが、あらかじめ知っておくだけでできる配慮がある

No	障害種別	詳細
1	肢体不自由	段差や階段の移動が困難
2		狭い場所や通路の移動が困難
3		高い位置のモノが見えない、取れない
4		ドアを押ししたり、引いたりするのが困難
5	視覚障害	初めて行く場所の移動に危険が伴う
6		エレベーターで目的階がわからない
7		お店の空いている席がわからない
8		手紙やお店のメニューが読めない
9	聴覚言語障害	自分自身に話しかけてもらえない
10		窓口や店員に言いたいことが伝わらない
11		チャイムの音や館内放送が聞こえない
12		字幕がないと動画やテレビを楽しめない
13	内部障害	オストメイト対応トイレが少ないため不安
14		専用駐車スペースに車を置くと注意される
15		優先座席に座ると冷ややかな目で見られる
16		重い物を持つなど、生活動作に制限がある



[本社] 大阪市淀川区西中島3-8-15新大阪松島ビル8F
 Tel : 06-6195-7853 / Fax : 06-6195-7854